

## 平成30年度 事業報告

(敬称略)

平成30年度は、年間を通して楽団創立45周年を機に新指揮者陣（常任指揮者：飯守泰次郎、レジデント・コンダクター：高関健、指揮者：角田鋼亮）を中心にした、仙台フィルの新しい時代の到来を内外に示すことを主眼におきました。

また、音楽を通して未来を担う子どもたちの成長を支援するため小学生から高校生までの青少年を対象にした青少年招待制度（U-18チケット）を本格的に始動し、定期演奏会に多くの青少年が音楽に親しむ機会を積極的に創出してまいりました。

なお、前年に続き仙台市花き市場の協力のもと演奏会ロビーを季節の花々で飾り、花束をお客さまにもプレゼントする企画「くらしに花を、そして音楽を」を今年度も継続して開催いたしました。毎回ロビーを彩る華やかな装飾は、仙台フィルならではの企画として多くの方々の共感を集めています。

楽団の体制については、平成29年度、オーディションを経てトランペット・浦田誠真を採用いたしました。近年、世代交代が加速しつつある仙台フィルのなかで、次世代の仙台フィルを担う中核として活躍が期待されています。

今後も、ご支援を頂戴している地域の皆様をはじめ、助成や協賛をいただいている企業や団体からの仙台フィルへのご期待にお応えできるよう、事業運営の基盤となる経営の安定化、組織の充実に向けた諸施策に楽団全体で鋭意取り組んでまいります。

### 1. 楽団経営健全化への取り組み

平成30年度は、平成29年度第6回理事会で議決した「経営健全化に向けた新たな取り組み」の初年度でした。

この取り組みは、「適正な編成規模への見直し」により累積赤字を解消し経営の健全化を図ることを大きな柱としているものでありますが、当面は累積赤字を増やさない取り組みとして、仙台国際音楽コンクール開催年度を含めた3か年の収支を均衡させることを目標としております。

第6回仙台国際音楽コンクールは平成28年度に開催されましたが、この年度を含めた3か年の収支（平成28年度～平成30年度）は2,460万円のプラスといった結果となり、「経営健全化に向けた新たな取り組み」を着実にスタートすることができたものと思っております。

今後もこの取り組みを確実に進めるとともに、更に地域に根差し愛されるオーケストラを目指してマーケティング戦略にも一層力を注いでまいりたいと考えております。

## 2. 交響管弦楽等の演奏

### (1) 定期演奏会（18日：18ステージ）

平成30年度は新常任指揮者飯守泰次郎の初シーズンとなり、飯守が集中的に取り上げるベートーヴェンを軸にベートーヴェンに連なるハイドン、メンデルスゾーン、シューベルト、シューマンなどオーケストラにとってバックボーンとなるレパートリーを取り上げ、仙台フィルの基礎能力を最大限に引き上げることを主眼に展開しました。

加えてヤデル・ビニャミーニ、鈴木優人、川瀬賢太郎、角田鋼亮ら有望な指揮者たちを定期演奏会に初登場させ、仙台フィルの新時代を内外にアピールいたしました。

新シーズン最初となる5月第318回定期は、近年オペラ界で着実に頭角を現している期待のイタリア人指揮者ヤデル・ビニャミーニを招聘し、「火の鳥」をメインとするディアギレフのバレエ音楽をコンセプトとした多彩なプログラムで華々しく幕を開けました。

続く6月第319回定期には新常任指揮者飯守泰次郎が登場し、ベートーヴェンの「革新」に焦点をあて、伝統に果敢に挑戦するベートーヴェン像を内外にアピールいたしました。飯守は前年のモーツァルト後期交響曲と同様にオーケストラの並びに対向配置を採用、弦楽セクションのアンサンブル力アップを目指してゆく試みをスタートさせました。

7月の第320回定期演奏会では、東日本大震災の際に多くの支援をいただいた台湾に思いを寄せ、台湾フィルハーモニックの音楽監督を長年務める実力派リュウ・シャオチャと台湾フィルハーモニックのコンサートマスター、リ・イーチンを招聘、台湾と東北の心の文化交流をコンセプトに開催いたしました。ソリストには第6回仙台国際音楽コンクールピアノ部門優勝者のキム・ヒョンジュンを迎え、台湾・韓国・日本のアジアが集う公演となりました。

公演に先立ちリュウ・シャオチャ、リ・イーチン、神谷未穂は、南三陸町に設置された台湾と東北の絆の石碑を訪れ、国内外のジャーナリストに向けて情報発信を行いました。

9月第321回定期演奏会には、バッハ・コレギウム・ジャパンの首席指揮者を務め、国内外で引く手あまたの才人、鈴木優人が定期デビューを果たしました。シェーンベルクが編曲したバッハのオルガン作品である前奏曲とフーガを今シーズン最大のオーケストラ編成により上演、現代オーケストラでのバッハ演奏のひとつの可能性を内外に示しました。また鈴木は自身のルーツともいえるバッハを基としたメンデルスゾーン交響曲第5番「宗教改革」を披露。仙台フィルからドイツ古典音楽の奥深い色彩感を引き出すことに成功し、来場のお客様より大きな喝采を浴びていました。

10月第322回定期演奏会には、4月にモーツァルト：ヴァイオリン協奏曲2曲の見事な弾き振りを披露した元ウィーン・フィルのコンサートマスター：ライナー・キュッヒルを再びゲストに迎え、モーツァルト：協奏交響曲で仙台フィルと共演しました。キュッヒルが醸し出すウィーン・フィルの様式感、数度に

わたる共演により仙台フィルにとって非常に貴重な財産となりました。

また同公演ではレジデント・コンダクター高関健がバルトーク：管弦楽のための協奏曲で、仙台フィルの各セクションの能力を最大限に引き出し、レジデント・コンダクター就任イヤーに相応しい充実した公演となりました。

11月第323回定期演奏会では、再び飯守泰次郎が登壇し、若手実力派田村響と気迫溢れるベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番を披露。後半では古今の名作として知られるドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」を取り上げました。数多く演奏されるが故に型にはまりがちであった「新世界交響曲」では作曲家自身の意図を汲み入れた新しいアプローチを取り入れ、念入りなりハーサルにより新しい「新世界より」像をつくりだすことに成功しました。

なおこの公演は、ライブ録音され翌年4月にリリースされました。

年が明けた1月第324回定期演奏会には神奈川フィル、名古屋フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢にポストを持つなど近年充実した活動を繰り返している若手実力派川瀬賢太郎が定期デビューを果たしました。ハイドンなどウィーン古典派を深く敬愛している川瀬は、仙台フィルからハイドン時代特有の自主性あふれるサウンドを引き出していました。

2月第325回定期には日本音楽界の重鎮である堤剛が登場、難曲として知られるショスタコーヴィッチ：チェロ協奏曲第1番で圧倒的な名演を披露し万雷の拍手を浴びていました。飯守泰次郎は就任1年目の締めくくりにシューベルト晩年の大作、交響曲第8番「グレート」をとりあげ、充実した演奏を展開しました。またこの回よりオーケストラの楽器配置を対向配置からさらにコントラバスを後方一列に配置するウィーン古典スタイルに変更。仙台フィル特有の新たなスタイルが誕生しました。

締めくくりの3月には今シーズン指揮者に就任した角田鋼亮が定期デビュー、前年のニューイヤーコンサートや仙台クラシックフェスティバルなど多くの共演を経て良好なリレーションを確立した角田と仙台フィルは、伝統と革新が融合したウィーン古典派の音楽を見事に表出することに成功しました。

## (2) 特別演奏会 (12日：13ステージ)

4月、長年ウィーン・フィルコンサートマスターを務めたライナー・キュッヒルを迎えキュッヒル弾き振りによるモーツァルト：ヴァイオリン協奏曲を名取市文化会館で開催。キュッヒル自身のボウイングによるウィーン・スタイルのモーツァルトを多くのみなさまに楽しんでいただくとともに、キュッヒルの長年のキャリアから滲み出る様式感を楽団員が共有する絶好の機会となりました。

6月仙台フィルが長年にわたって開催してきた「日本の現代作曲家」シリーズを大胆にリニューアル、新たにレジデント・コンダクターに就任した高関健プロデュースにより、現代音楽界で日本人作曲家による管弦楽作品の傑作に焦点をあてるというコンセプトのもと「日本のオーケストラ音楽」展をスタートさせました。

第1回目となる今回の公演は、宮城フィル音楽総監督であった芥川也寸志の弦楽のためのトリプティック、近年吹奏楽界でも注目されている矢代秋雄：交響

曲、現在作曲界の寵児となっている藤倉大のシークレット・フォレストを取り上げました。矢代秋雄の傑作を追体験するため200名の高校生がこの公演に集まり、その高校生たちが一様に藤倉作品の大胆さを初体験するなど実りの多い公演となりました。

7月に開催した恒例のサマーフェスティバルは、MOVIE セレクションと題しオーケストラ作品による映画音楽を軸に大胆な照明による演出でエンタテインメント性の高い公演をお贈りしました。ナビゲーターにはベテランの柴田秀一を起用し、映画とオーケストラ音楽の親和性を幅広い層にアピールしました。

8月に岩沼・栗原で開催したマイタウンコンサートでは、仙台フィルが誇る首席奏者たちをソリストにモーツァルト：管楽器のための協奏交響曲を取り上げました。オーケストラ公演への勧誘のため各地域のコミュニティ向けに管楽ソリストによる室内楽公演を開催しました。後半はベートーヴェン：交響曲第7番を取り上げ、本格的なシンフォニーを堪能していただきました。

12月の第九特別演奏会には、新常任指揮者飯守泰次郎が登壇、念入りなりハーサルのもと、重厚でありながら、積極性に富む充実した第九公演となりました。

1月のニューイヤーコンサート in 福島には鈴木優人が前年9月定期につづいて登場、モーツァルト：交響曲第41番で熱演を繰り広げ大きな拍手を浴びていました。

また2月には、今年開催される第7回仙台国際音楽コンクールと連携して、第6回コンクールの両部門優勝者を招聘し、優勝者ガラ・コンサートを仙台といわきで開催し、コンクールに向けた機運向上に大きく寄与するとともに、両優勝者との旧交をあたためました。

平成30年度に開催した主な特別演奏会は以下のとおりです。

- ・オーケストラと遊んじゃおう
- ・マイタウンコンサート in 名取 ライナー・キュッヒル弾き振り
- ・サマーフェスティバル2018 MOVIE セレクション
- ・マイタウンコンサート in 岩沼、栗原
- ・仙台フィル第九特別演奏会
- ・名曲コレクション in 福島
- ・名曲コレクション 第6回仙台国際音楽コンクール優勝者ガラ・コンサート

### (3) 依頼演奏会（65日：76公演）

4月ゲーム「刀剣乱舞」を題材に全国で展開されたオーケストラ公演のうち仙台2公演を受注。普段接する機会のない層にオーケストラ・サウンドを体験していただく絶好の機会になりました。

10月には翌年オーケストラ公演で訪れる秋田県4都市（由利本荘市、秋田市、鹿角市、湯沢市）において、合唱指導を含めたワークショップを実施しました。

文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」（学校訪問）を本年も16公演を受注、三重県、滋賀県、大阪府、和歌山県を訪れました。

明けて1月には岩手県大船渡市よりリアスホール開館10周年記念公演に招

聘いただき、2月には音楽姉妹都市である大分県竹田市の招聘を受け、豪雨災害から再建がなったグランツ竹田において地元合唱および演劇塾のみなさんとの合同公演を果たしました。

3月には昨年好評を博した「蜜蜂と遠雷」をテーマにした芸術銀河スペシャルコンサートを再び受注し仙台国際コンクール入賞者による公演を行いました。

#### **(4) 室内楽 (51公演)**

平成30年度も、オーケストラの演奏活動と共に、室内楽での演奏活動を仙台市内のみに止まらず東北各地で行いました。サントリーホールディングスからは「東北サンさんプロジェクト」の一環として「みんなのまちのコンサート」を受注、南三陸町、陸前高田市、福島市、仙台市にて公演を行いました。

### **3. 青少年の音楽鑑賞及び演奏等に関する指導およびその普及**

#### **(1) 青少年のためのオーケストラ鑑賞会**

仙台市教育委員会との連携による小学5年生と中学1年生を対象とした「青少年のためのオーケストラ鑑賞会」は今年も14公演を実施いたしました。

#### **(2) 次代を担う子どもの文化芸術体験事業**

文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」(学校巡回公演)については、奈良県、三重県、滋賀県、大阪府、和歌山県、の小中学校16校を訪れ、楽団員による事前のワークショップを含め多くの子供たちに生演奏の感動をお届けしました。

### **4. その他目的達成のために必要な事業**

#### **(1) 演奏に必要な調査、研究**

8月に大阪で全国のオーケストラのステージマネージャーが集まり、それぞれのオーケストラにおける問題点を討議し、また、有益な情報を交換するステージマネージャー会議が開催され、本会議に参加し情報交換をしました。

#### **(2) 仙台フィルと第九をうたう合唱団等**

平成30年も10月に開催された「せんくら」と年末の「仙台フィル第九」に向けた「仙台フィルと第九をうたう合唱団」を公募しました。その上で、オーディションの合格者で合唱団を編成し指導育成することで、アマチュアコーラスの発展に寄与しました。

#### **(3) 仙台ジュニアオーケストラ**

音楽監督平川範幸を迎え、新体制のもと10月28日に定期演奏会を、そして平成31年3月24日にスプリングコンサートを開催しました。加えて、平成30年度は8月6日から8日にかけて岩手県花巻市における夏期合宿に参加、ジュニアオーケストラのメンバーの指導を行いました、

以上

## 平成 30 年度事業報告

### 【参考資料】

#### (1) 定期演奏会 (18 公演)

・第 318 回～326 回 (金・土・2 回公演)

回	開催日	出演者	演奏曲目
318	5.11(金) 12(土)	指揮：ヤデル・ビニャーニ	ロッシーニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲 ロッシーニ/レスピーギ：バレエ組曲「風変わりの店」 ヴェルディ：歌劇「マクベス」より〈舞踏音楽〉 ストラヴィンスキー：幻想的スケルツォ ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)
319	6.15(金) 16(土)	指揮：飯守泰次郎	ベートーヴェン：交響曲第2番ニ長調 ベートーヴェン：交響曲第3番変ホ長調「英雄」
320	7.13(金) 14(土)	指揮：リュウ・シャチャ ピアノ：キム・ヒョンジョン	レスピーギ：組曲「鳥」 モーツァルト：ピアノ協奏曲第9番変ホ長調「ジュノム」 シベリウス：交響曲第2番ニ長調
321	9.14(金) 15(土)	指揮：鈴木優人	バッハ/シェンベルク：前奏曲とフーガ変ホ長調「聖アン」 バッハ/ヴェーベルン：6声のリチェルカーレ ラヴェル：組曲「クープランの墓」 メンデルスゾーン：交響曲第5番ニ長調「宗教改革」
322	10.19(金) 20(土)	指揮：高関健 ヴァイオリン：ライナー・キッツル ヴィオラ：井野邊大輔	モーツァルト：交響曲第32番ト長調 モーツァルト：協奏交響曲変ホ長調 バルトーク：管弦楽のための協奏曲
323	11.23(金) 24(土)	指揮：飯守泰次郎 ピアノ：田村響	ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番ハ短調 ドヴォルザーク：交響曲第9番ホ短調「新世界より」
324	2019年 1.25(金) 26(土)	指揮：川瀬賢太郎	プロコフィエフ：古典交響曲ニ長調 ハイドン：交響曲第90番ハ長調 ベートーヴェン：交響曲第4番変ロ長調
325	2.8(金) 9(土)	指揮：飯守泰次郎 チェロ：堤 剛	ショスタコーヴィチ：チェロ協奏曲第1番変ホ長調 シューベルト：交響曲第8番ハ長調「ザ・グレート」
326	3.15(金) 16(土)	指揮：角田鋼亮	バッハ/エルガー：幻想曲とフーガハ短調 バッハ/バントック：「目をさませと呼ぶ声が聞こえ」 ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲 シューマン：交響曲第2番ハ長調

会場：日立システムズホール仙台・コンサートホール 開演：金曜日午後7時 土曜日午後3時

(2) 特別演奏会 (13 公演)

オーケストラと 遊んじゃおう Vol.15	4.8(日) 2回	指揮：角田鋼亮 ゲスト：鶴木絵里 ゲスト：宮本益光	スーザ：星条旗よ永遠なれ モーツァルト：歌劇「魔笛」より やっぺえ！たいそう 他 ※開演前に楽器博物館を開催。
マイタウン コンサート in 名取	4.29(日)	ヴァイオリン：ライナー・キョヒル	シューベルト：ロンド イ長調 モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第4番 ニ長調 ハイドン：ヴァイオリン協奏曲第1番 ハ長調 モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 「トルコ風」
「日本のオーケ ストラ音楽」展	6.7(木)	指揮：高関健	芥川也寸志：弦楽のための三楽章「トリプティック」 藤倉 大：シークレット・フォレスト 矢代秋雄：交響曲
サマーフェスティバル 2018	7.28(土)	指揮：鈴木織衛 ゲスト：大山大輔 ピエーター：柴田秀一 照明：成瀬一裕	スター・ウォーズ メインテーマ 「オペラ座の怪人」より 「レ・ミゼラブル」より 「ハリー・ポッターと賢者の石」組曲 他
マイタウン コンサート in 岩沼,in 栗原	8.25(土) 8.26(日)	指揮：平川範幸 オーボエ：西沢澄博 クラリネット： ダビット・ヤジンスキー ファゴット：水野一英 ホルン：須田一之	モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク モーツァルト：協奏交響曲変ホ長調 ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調
もりのみやこの ふれあい コンサート	12.4(水)	指揮：水戸博之	モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲 エルガー：愛の挨拶 外山雄三：管弦楽のためのラプソディ アンダーソン：舞踏会の美女、プリンク・プランク・ プルンク、サンドペーパー・バレエ、 ビゼー：「カルメン」組曲第1番より 他
第九特別	12.22(土) 12.23(日)	指揮：飯守泰次郎 ソプラノ：澤畑恵美 メゾ・ソプラノ：金子美香 テノール：片寄純也 バリトン：大沼徹	モーツァルト：歌劇「ドン・ジョバンニ」序曲 ベートーヴェン：交響曲第9番 ニ短調
名曲コレクション ニュー・イヤー・ コンサート 2019	2019年 1.12(土) 福島	指揮：鈴木優人	J.シュトラウスⅡ世：喜歌劇「こうもり」序曲 J.シュトラウスⅡ世：トリッチ・トラッチ・ポルカ ヨーゼフ・シュトラウス：鍛冶屋のポルカ スッペ：喜歌劇「軽騎兵」序曲 J.シュトラウスⅡ世：美しく青きドナウ モーツァルト：交響曲第41番ハ長調「ジュピター」 他
名曲コレクション 仙台国際音楽コ ンクール優勝者 ガラ・コンサート	2.16(土) 仙台 2.17(日) いわき	指揮：鈴木織衛 ヴァイオリン：チャン・ユン ピアノ：キム・ヒョンジュン	メンデルスゾーン：序曲「フィンガルの洞窟」 チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 ブラームス：ピアノ協奏曲第1番 ニ短調

(3) 依頼演奏会 (76 公演)

主 催 者	公 演 数	備 考
文化庁 (文化芸術による子供の育成事業)	16 公演	
仙台市教育委員会等 (青少年のためのオーケストラ鑑賞会)	14 公演	
仙 台 市 (含む関係団体)	6 公演	市制施行 せんくら
宮 城 県 (芸術銀河スペシャルコンサート ほか)	2 公演	
(地方音楽会)	3 公演	
東北電力 (親子コンサート)	1 公演	
七十七銀行 (スターライトシンフォニーほか)	3 公演	
藤 崎 (ニューイヤーコンサート)	1 公演	
一 般 依 頼 各種コンサート	30 公演	
依頼公演合計	76 回	



依頼演奏会 (76公演)

開催日	演奏会名	出演者	主催者等
4.12 (木) 13 (金) [2公演]	刀剣乱舞コンサート (東京エレクトロンホール宮城)	指揮：角田鋼亮	主催：ソネットエンタテインメント
4.17 (火)	片岡良和作品展 (東京エレクトロンホール宮城)	指揮：岩村力 ソプラノ：齋藤翠	主催：片岡良和
4.25 (水)	県民ロビーコンサート (宮城県庁ロビー)	指揮：松井慶太	主催：宮城県
5.24 (木)	七十七ふれあいコンサート (女川中学校)	指揮：水戸博之	主催：七十七銀行
5.27 (日)	ハウス食品ファミリーコンサート (東京エレクトロンホール宮城)	指揮：竹本泰蔵 ヴァイオリン：吉田恭子 司会：原田知恵	主催：ハウス食品
6.1 (金) 6.2 (土) 6.3 (日) [3公演]	杜の都コンサート (仙台駅)	指揮：松井慶太 お話・指揮：池辺晋一郎 他	主催：東日本鉄道文化財団
6.10 (日)	東北電力ファミリー名曲コンサート (弘前市民会館)	指揮：松村秀明	主催：東北電力
6.19 (火) 6.20 (水) 6.21 (木) 6.22 (金) 6.25 (月) 6.26 (火) 6.27 (水) 6.28 (木) 6.29 (金) [9公演]	文化芸術による子供の育成事業 (御浜町立御浜小学校 (三重) 下北山村立下北山中学校 (奈良) 津市立一志西小学校 (三重) 四日市市立海蔵小学校 (三重) 大津市立坂本小学校 (滋賀) 豊中市立豊南小学校 (大阪) 守口市立守口小学校 (大阪) 大阪市立難波元町小学校 (大阪) 寝屋川市立神田小学校 (大阪)	指揮：松井慶太 テノール：糸賀修平	主催：文化庁
7.2(月)	仙台市市制施行記念演奏会 (仙台銀行ホールイズミティ 21)	指揮：鈴木織衛	主催：仙台市
7.4 (水) 7.5 (木) 7.6 (金) [6公演]	青少年のためのオーケストラ鑑賞会 (日立システムズホール仙台)	指揮：鈴木織衛	主催：仙台市、 仙台市教育委員会 仙台市市民文化事業団
8.3 (金)	菅英三子仙台フィルと歌う (日立システムズホール仙台)	指揮：現田茂夫 ソプラノ：菅英三子 テノール：福井敬	主催：菅英三子ファンクラブ
9.1 (土) 9.2 (日) [2公演]	仙台オペラ協会公演 (東京エレクトロンホール宮城)	指揮：佐藤寿一	主催：仙台オペラ協会
9.7 (金) 9.21 (金) [4公演]	日生劇場「アラジン」 (白河コミネス) (大船渡リアスホール)	指揮：角田鋼亮、大井剛史 <キャスト>アラジン：新井 海人 ランプの精：与那城敬 アマービレ姫：三宅理恵 他	主催：(公財)ニッセイ文化振興 財団
9.23 (日)	野草園萩祭りコンサート (野草園)	指揮：阿部未来	主催：仙台市野草園

9.28 (金) 9.29 (土) 9.30 (日) [5公演]	仙台クラシックフェスティバル (仙台銀行ホールイズミティ 21)	指揮：角田鋼亮 ヴァイオリン：大江馨 ピアノ：松田華音 ピアノ：横山幸雄	主催：仙台市 仙台市市民文化事業団
10.3 (水)	酒田共同火力仙台フィルコンサート (希望ホール)	指揮：飯守泰次郎 ヴァイオリン：大江馨	主催：酒田共同火力
10.9 (火) 10.10 (水) 10.11 (木) 10.12 (金) [4公演]	「文化芸術による子供の育成事業」 (和歌山県広川町立南広小学校) (和歌山県橋本市立応其小学校) (和歌山県有田川町立吉備中学校) (和歌山市立砂山小学校)	指揮：松井慶太 テノール：糸賀修平	主催：文化庁
10.23 (火) 10.24 (水) 10.25 (木) 10.26 (金) [8公演]	青少年のためのオーケストラ鑑賞会 (日立システムズホール仙台)	指揮：鈴木織衛	主催：仙台市、 仙台市教育委員会 仙台市市民文化事業団
11.8 (木)	仙台フィル室内オーケストラコンサート (名取市文化会館・中ホール)	指揮：平川範幸	主催：(公財)名取市文化振興 財団
11.11 (日)	盛岡市民文化ホール 20 周年記念 スペシャルガラコンサート (盛岡市民文化ホールマリオス)	指揮：岩村力 ヴァイオリン：西本幸弘	主催：(公財)盛岡市文化振興 事業団
11.15 (木)	日生劇場「アラジン」 (南陽市文化会館)	指揮：大井剛史 <キャスト>アラジン：新井 海人 ランプの精：与那城敬 アマービレ姫：三宅理恵 他	主催：(公財)ニッセイ文化振興 財団
11.19 (月)	七十七ふれあいコンサート (大崎市立敷玉小学校)	指揮：太田弦	主催：七十七銀行
11.27 (火) 11.28 (水) 11.29 (木) [3公演]	文化庁「文化芸術による子供の育成事業」 (堺市立庭代台小学校) (大阪市立新平野西小学校) (大阪市立住之江小学校)	指揮：松井慶太 テノール：加藤太朗	主催：文化庁
12.2 (日)	東北文化学園第九演奏会 (仙台銀行ホールイズミティ 21)	指揮：ケン・シェ ソプラノ：工藤あかね メゾ・ソプラノ：加賀ひとみ テノール：五十嵐修 バリトン：小森輝彦	主催：東北文化学園大学
12.9 (日)	岩沼第九演奏会 (岩沼市民会館)	指揮：岩村力 ソプラノ：小野綾子 アルト：清水華澄 テノール：辻裕久 バリトン：小森輝彦	主催：みんなで歌う第九の会
12.10 (月)	七十七スターライトシンフォニー (電力ホール)	指揮：岩村力 <ゲスト>五輪真弓	主催：七十七銀行
12.16 (日)	一関第九演奏会 (一関文化センター)	指揮：岩村力 ソプラノ：佐藤恵利 アルト：佐藤恵津子 テノール：与儀巧 バス：金子宏	主催：いちのせき第九演奏会 実行委員会

12. 25 (火)	仙台フィルのクリスマスコンサート (日立システムズホール仙台)	指揮：角田鋼亮	主催：仙台市、 仙台市市民文化事業団
1. 9 (水)	藤崎ニューイヤー (電力ホール)	指揮：鈴木優人	主催：藤崎
1. 14 (月)	リアスホール開館10周年記念 仙台フィルニューイヤーコンサート (大船渡リアスホール)	指揮：鈴木優人 オーボエ：西沢澄博	主催：大船渡市
1. 19 (土)	JAF 音楽日和 (日立システムズホール仙台)	指揮：鈴木織衛 <ゲスト>遊佐未森	主催：日本自動車連盟
1. 30 (水)	オーケストラスタンダード Vol. 22 (日立システムズホール仙台)	指揮：太田弦 ヴァイオリン：郷古廉	主催：仙台市 仙台市市民文化事業団
2. 2 (土)	宮城県地方音楽会 (七ヶ浜国際村ホール)	指揮：石崎真弥奈	主催：宮城県、七ヶ浜町
2. 3 (日)	宮城県地方音楽会 (大和町まほろばホール)	指揮：石崎真弥奈	主催：宮城県、大和町
2. 10 (日)	宮城県地方音楽会 (気仙沼市民会館)	指揮：石崎真弥奈	主催：宮城県、気仙沼市
2. 20 (水)	オーケストラスタンダード Vol. 23 (日立システムズホール仙台)	指揮：山下一史 ピアノ：津田裕也	主催：仙台市 仙台市市民文化事業団
2. 24 (日)	仙台フィル竹田公演 (グランツ竹田)	指揮：山下一史 共演：グランツ合唱塾 グランツ演劇塾	主催：竹田市総合文化ホール グランツたけた(竹田市)
3. 3 (日)	新進演奏家育成プロジェクトオーケストラシリーズ (日立システムズホール仙台)	指揮：鈴木織衛 フルート：畢曉樺 ハープ：伊藤舞梨 トランペット：浦田誠真 ピアノ：石丸友貴	主催：文化庁 日本演奏連盟
3. 9 (土)	みんなで作る復興コンサート (多賀城市民会館)	指揮：大井剛史 <ゲスト>半崎美子 <合唱>仙台南高校合唱部	主催：TBSラジオ 東北放送、 河北新報社
3. 20 (水)	ピアニストと国際コンクール Vol. 2 (東京エレクトロンホール宮城)	指揮：鈴木織衛 ピアノ：北端祥人/坂本彩	主催：みやぎ県民文化創造の祭 典実行委員会、宮城県